

がん進展領域を可視化し根治的切除範囲を誘導する内視鏡手術システムの開発

1. 研究の対象

2009年04月01日から2029年3月31日までに国立がん研究センター東病院で内視鏡外科手術（腹腔鏡手術やロボット支援下手術）を受けられた方で、研究課題番号2019-230「内視鏡外科手術の多施設データベース構築」または2022-124「産婦人科における内視鏡外科手術動画等を用いた多施設データベースの構築及び利活用」または2022-062「内視鏡外科手術動画等を用いた多施設データベースの構築及び利活用」または2024-272「手術室全景動画を用いた産業利用可能なデータベース構築」の研究にご協力頂いており、手術関連情報の二次利用にご同意頂いている18歳以上の方。対象のがん種は、大腸がん、子宮頸がん・子宮体がん、卵巣がん、その他の女性生殖器がん等に限定されます。

2. 研究目的・方法

研究目的：人工知能による画像解析技術を用いて、手術に必要な情報を外科医にわかりやすく提示する次世代型内視鏡手術システムを開発・提案することです。

研究方法：すでに保有している手術動画および術前画像を後ろ向きに解析します。

研究実施期間：研究許可日～2029年3月31日

本研究は国立研究開発法人日本医療研究開発機構における事業名『医療機器等における先進的研究開発・開発体制強化事業』、プログラム名『先進的医療機器・システム等開発プロジェクト』、研究開発課題名『がん進展領域を可視化し根治的切除範囲を誘導する内視鏡手術システムの開発』の研究代表機関である、朝日サージカルロボティクス株式会社からの委託研究開発契約に基づく研究です。朝日サージカルロボティクス株式会社から研究資金を受領して行います。

3. 研究に用いる情報の種類

手術動画から臓器把持、剥離領域、牽引力、牽引方向、出血状態、腫瘍や臓器の位置、エネルギーデバイス先端部から腫瘍までの距離等に関する画像情報を抽出し解析します。

4. 外部への情報の提供

本研究は朝日サージカルロボティクス株式会社からの委託研究開発契約に基づく研究です。

当院内でのデータの保管・利用・管理は、本研究の研究者以外がアクセスできない状態で行います。委託元である、朝日サージカルロボティクス株式会社へのデータの提供は、委託研究開発に関わる研究者以外がアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター東病院 医療機器開発推進部門長 伊藤 雅昭

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するために、第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

国立がん研究センター東病院

医療機器開発推進部門 AI デジタル機器開発推進室 医員 北口 大地

住所：〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

電話番号：04-7133-1111 内線：91022